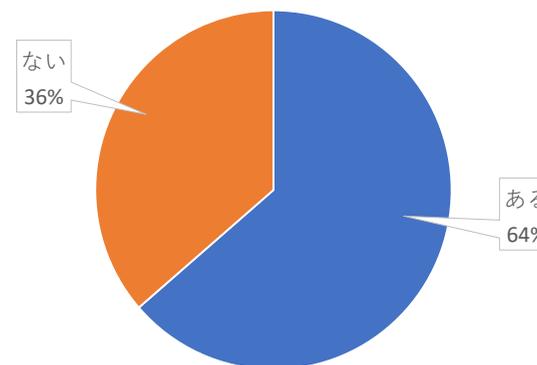


よく用いられる評価方法

	知識 及び 技能	思考・判 断・表現	主体的に学 習に取り組 む態度
ペーパーテスト	◎	○	△
授業での見取 り・行動観察	△	○	◎
ワークシート・ ノート		◎	◎
レポート・作品		◎	◎
ポートフォリオ	△	◎	○
相互評価・自己 評価			◎

態度の評価に「行動観察」



態度の評価に「行動観察」

- しっかり授業をしている先生で、案外、行動観察は入れない、という方がいます。
- 要は、記録に残す際の客観性と一斉に見取ることができないことから来る公平性・信頼性を心配しているのです。
- また、1人1台の端末で公平性・記録性が担保できそうになっていることもあります。
- 私は、評価手法として、行動観察が廃れてしまいそうなのを心配しています。
- 直接的で細やかに評価でき、指導との一体化が図りやすい行動観察はぜひやってほしい評価方法です。生徒と直接向き合うのが、この方法なのです。

態度の評価に「行動観察」

- 教員には評価の決定権がある。校長にはない。
- もっと自信をもって評価＝指導ができる授業にしてほしい、というのが願いです。
- 「先生は主観で成績を出している」という保護者はいるでしょうが、だからと言って、理科はまだいいが、音楽や美術は、先生の主観でないと成績は出せません。
- 「行動観察では説明責任がもてない」という及び腰では、よい授業はできない、というぐらいの気持ちです。